

NEWS RELEASE



帝国ホテル

<http://www.imperialhotel.co.jp>

2017年（平成29年）12月21日

上高地帝国ホテル 開業 85 周年

■開業 85 周年記念フェアを帝国ホテル東京で開催

期間：2018年1月5日（金）～ 2月28日（水）

場所：本館1階 オールデイダイニング「パークサイドダイナー」
本館1階 ホテルショップ「ガルガンチュワ」

■2018年度の宿泊予約受付開始

2月1日（木）10時より

予約専用ダイヤル（03-3592-8001）

および帝国ホテルホームページにて

2018年度営業期間：4月26日（木）～ 11月9日（金）



KAMIKOCHI

上高地帝国ホテル



日十三月九 画正ノルテホル七城完



左上・開業当時の上高地帝国ホテル、右上・上高地帝国ホテル歴代料理長
左下・牛肉と朴葉味噌包み焼き 信州産茸と野菜添え、右下・カマンベールチーズケーキ

株式会社 帝国ホテルは、2018年に上高地帝国ホテル（所在地：長野県松本市安曇上高地）が開業85周年を迎えることを記念し、『上高地帝国ホテル開業85周年記念フェア』を帝国ホテル東京のオールデイダイニング「パークサイドダイナー」とホテルショップ「ガルガンチュワ」で、1月5日（金）から2月28日（水）まで開催いたします。また、2018年度宿泊予約受付を2018年2月1日（木）午前10時より予約専用ダイヤル（03-3592-8001）、および帝国ホテルホームページにて開始いたします。

※2018年度の営業期間は4月26日（木）～11月9日（金）、最終チェックアウト11月10日（土）



上高地帝国ホテルは、1933年（昭和8年）、政府の国際観光振興策のもと、わが国初の本格的な高級山岳リゾートホテルとして開業し、来る2018年に開業85周年を迎えます。

上高地の豊かな自然の緑の中に映えるスイスの山小屋をイメージした赤い三角屋根と吹き抜けのロビーの暖炉にかかる巨大なマンツルピースが特徴のクラシックホテルとして親しまれており、中でも穂高連峰が眼前に迫るダイナミックな眺望は上高地帝国ホテルの大きな魅力のひとつです。館内には3つのレストランとロビーラウンジ、バーがあり、ご宿泊のお客様だけでなく外来のお客様にも多くご利用いただいております（一部は宿泊者専用）。

なお、上高地は標高1500mに位置し、冬期は雪に覆われて通行ができなくなるため、毎年4月下旬から11月上旬の約半年間を営業期間としています。



『上高地帝国ホテル開業85周年記念フェア』では、上高地の歴代料理長が考案したオリジナルメニューの中から、選りすぐりの肉料理、魚料理計8品を週替わりでお楽しみいただけます。また、ロビーラウンジでお楽しみいただいているケーキや、地元で好評のクラフトビール、信州産の果汁飲料といった、上高地でおなじみのデザートやドリンクもご提供いたします。ホテルショップ「ガルガンチュワ」でも上高地でご提供しているケーキやお持ち帰り用にアレンジした惣菜など計4品を販売いたします。

フェアの詳細および上高地帝国ホテルの2018年度営業概要は次の通りです。

■ 上高地帝国ホテル開業 85 周年記念フェア 概要

期 間： 2018 年 1 月 5 日（金）～2 月 28 日（水）

帝国ホテル 東京 本館 1 階 オールデイダイニング「パークサイドダイナー」

◆料理

4 名の上高地歴代料理長が在任中に信州産の食材や郷土料理からインスピレーションを得て考案した、オリジナリティあふれるメニューをご提供します。

ご提供時間： 11：00～23：00（L.O.）

料 金： 肉料理 2,900 円 / 魚料理 2,500 円

※ライスまたはパン付

※11：00～14：00 まではランチメニューとしてご用意いたします
（サラダ、ライスまたはパン、コーヒー付）

※消費税込み、サービス料別

●高橋 義幸料理長メニュー（上高地帝国ホテル料理長就任期間 2008～2010 年）

1 月 5 日（金）～1 月 11 日（木）、2 月 2 日（金）～2 月 8 日（木）

【肉料理】

和風リブアイステーキと山菜ピラフ 飛騨山椒の香り

【魚料理】

千曲川サーモンのポワレ ラタトゥイユ添え 白ワイン風味のソース



●加藤 義晶料理長メニュー（上高地帝国ホテル料理長就任期間 2017 年～現在）

1 月 12 日（金）～1 月 18 日（木）、2 月 9 日（金）～2 月 15 日（木）

【肉料理】

信州米豚のロースト燻製パプリカの香り チョリソークリームとともに

【魚料理】

信濃雪鱒の炙り焼き 焼き野菜添え



●松本 克己料理長メニュー (上高地帝国ホテル料理長就任期間 2011～2013年)

1月19日(金)～1月25日(木)、2月16日(金)～2月22日(木)

【肉料理】

牛肉の朴葉味噌包み焼き 信州産茸と野菜添え

【魚料理】

千曲産大岩魚のムニエル 温野菜添え



●前田 謙次郎料理長メニュー (上高地帝国ホテル料理長就任期間 2014～2016年)

1月26日(金)～2月1日(木)、2月23日(金)～2月28日(水)

【肉料理】

信州ハーブ鶏のポワレ 野菜と茸を添えて

【魚料理】

信州サーモンと小海老入りマカロニグラタン



◆デザート

ロビーラウンジ「グリンドルワルト」の『カマンベールチーズケーキ』と『フォレ ノール』はご宿泊のお客様だけではなく外来のお客様にもご好評をいただいています。通常は上高地帝国ホテルのみでご提供している2種類のケーキを、フェア期間のみ東京でもお召し上がりいただけます。

ご提供時間： 11：00～23：00

●カマンベールチーズケーキ 950円

かつて帝国ホテル東京にあったティールーム「サロン ド テ」で誕生したカマンベールチーズケーキを、現在、上高地の定番ケーキとしてご提供しています。ケーキに使うカマンベールチーズは最も適切な熟成度合いで生地にするなど、チーズの味わいと香りを活かす製法を守っています。表面に格子模様をつけ、ケーキクラム（スポンジをごく細かく砕いたもの）をまぶしてカマンベールチーズのような見た目に仕上げた、上高地帝国ホテルで人気の高いケーキです。



●フォレ ノール 950円

フランス語で黒い森を意味する伝統的なケーキ“フォレ ノール”。チョコレートのスポンジとダークチェリーのコンポート、キルシュ（さくらんぼから造られるブランデー）で香りづけした生クリームを重ねています。自然豊かな上高地に思いを馳せるティータイムをお過ごしいただけます。



◆お飲物

上高地帝国ホテルで提供しているドリンクを、この機会に東京でもお楽しみいただけます。

ご提供時間： 11：00～23：00（L.O.）

<クラフトビール>

松本市初のビール醸造会社、松本ブルワリーから取り寄せたクラフトビール。数量限定。

●マツモト スマートウィートエール 1,400円

小麦麦芽を使ったアメリカンスタイルのエール。アロマホップが奏でる爽やかな柑橘系の香りと、まろやかで軽快な口当たりが心地よいビールです。

●マツモト トラディショナル ビター 1,400円

ビターは、英国で愛されているスタイルのビールです。モルトを贅沢に使用し、豊かな香りとはほど良い苦み、飲み飽きない味わいが特長です。ビール本来の“麦”の風味をゆっくりとお楽しみいただけます。

<ノンアルコール>

●山ぶんど 1,200円

小谷地方の方言で「山ぶどう」を「山ぶんど」と呼ぶことからネーミングした果汁飲料です。山ぶどうのさわやかな酸味と芳醇な味が特長です。

●白桃ジュース 900円

信州産川中島白桃を贅沢に搾ってつくられた、たいへんコクのあるジュースです。

●山ぶんどジンジャー 1,200円

「山ぶんど」をジンジャーエールで割った飲み口の爽やかなドリンクを、今回のフェアのために考案しました。



帝国ホテル 東京 本館1階 ホテルショップ「ガルガンチュワ」

営業時間： 8：00～20：00

●山菜ピラフ 国産牛添え 2,376円
和風のソースを使用した山菜ピラフです。柔らかい国産牛と白舞茸、しし唐を添えました。



●カマンベールチーズケーキ 864円
フェア期間中「パークサイドダイナー」でご提供するカマンベールチーズケーキは、ご自宅用にお持ち帰りいただくこともできます。
表面に格子模様をつけ、ケーキクラム（スポンジをごく細かく砕いたもの）をまぶしてカマンベールチーズのような見た目に仕上げた、上高地帝国ホテルで人気の高いケーキです。



●上高地帝国ホテル オリジナルコーヒー
(250g、粉) 1,080円
上高地帝国ホテルのお土産としてもご好評をいただいています。ロビーラウンジ「グリンデルワルト」でご提供しているコーヒーは、コロンビア、ブラジル、グアテマラ産の豆を使用したオリジナルブレンドです。数量限定。



●上高地帝国ホテルビーフカレー(レトルト)
1,200円
欧風カレーに長野県産の牛肉を、じっくり炒めた野菜とともに煮込む帝国ホテル伝統のレシピで奥深くまろやかな味わいに仕上げました。数量限定。



■ 上高地帝国ホテル 2018 年度営業概要

【営業期間】 : 2018年4月26日(木)～11月9日(金) ※チェックアウト11月10日(土)

【予約】 : 2月1日(木) 10時より

予約専用ダイヤル TEL: 03-3592-8001

予約受付時間 10:00～17:00 (月～金 ※祝日を除く)

※帝国ホテルホームページでも2月1日(木) 10時より承ります。

URL: <http://www.imperialhotel.co.jp/j/kamikochi>

【所在地】 : 〒390-1516 長野県松本市安曇上高地

TEL 0263-95-2001 (代表) 0263-95-2006 (客室予約専用)

【客室数】 : 74室

【料金】 : *1泊1室料金(消費税込み・サービス料別)

① ダブル、ツイン

スタンダードな客室です。下記料金表のダブルA、ツインAは、屋根の傾斜をそのまま天井のデザインに生かした山小屋風のお部屋です。

② ベランダ付き

雄大な景色をお楽しみいただける専用のベランダを備えております。

③ ファミリータイプ

ご家族4名様でのご利用に最適なお部屋です。

④ 스위트

2ベッドルーム(4名様/広さ105m²)タイプと1ベッドルーム(2名様/広さ72m²)タイプのスイートがございます。どちらもパーラー(リビングルーム)と専用のベランダを備えております。

		A 期間	B 期間	C 期間	
①	ダブル	ダブル A	31,320 円	34,560 円	37,800 円
		ダブル B	32,400 円	35,640 円	38,880 円
	ツイン	ツイン A	32,400 円	35,640 円	38,880 円
		ツイン B	37,800 円	41,040 円	44,280 円
②	ベランダ付き	ツイン又はダブル	44,280 円	47,520 円	50,760 円
		デラックスツイン	49,680 円	52,920 円	56,160 円
③	ファミリータイプ	(4名様ご利用)	72,360 円	75,600 円	78,840 円
④	スイート	1ベッドルーム	69,120 円	72,360 円	75,600 円
		2ベッドルーム	106,920 円	110,160 円	113,400 円

※1泊1室料金。消費税込み、サービス料別。

<A期間> 4月26日・4月27日、4月30日～5月2日、5月6日～7月13日、9月2日～9月14日、9月17日～9月21日、9月24日～9月28日、10月21日～11月8日 *土曜日を除く

<B期間> 7月16日～8月10日、8月19日～8月31日、9月30日～10月5日、10月8日～10月19日、11月9日、およびC期間を除く土曜日

<C期間> 4月28日・29日、5月3日～5月5日、7月14日・15日、8月11日～8月18日、9月15日・16日、9月22日・23日、10月6日・7日

2018年度 特別宿泊プラン

ご夕食と翌日のご朝食が付いた、毎年ご好評の宿泊プランです。

【期 間】 : A期間 ※6月21日(木)、22日(金)を除く。

【料 金】 : 1室2名様ご利用、1名様料金

ベランダ付きツイン (37㎡) 45,000円 (通常料金 46,974円)

ツインB (30㎡) 41,500円 (通常料金 43,410円)

ツインA (24㎡) 39,000円 (通常料金 40,440円)

※1泊夕・朝食付き。サービス料・消費税込み。

*ご夕食はフランス料理、または懐石料理のいずれかをお選びいただけます。

*ご朝食は洋食、または和食のいずれかをお選びいただけます。

*ロビーラウンジ「グリンデルワルト」でご利用いただけるお飲物券付。

【ご参考】

◆神秘的な魅力あふれる『神降地』

上高地は、中部山岳国立公園の特別保護地区に指定されている、日本屈指の山岳リゾート地です。澄んだ空気と梓川の清流、雄大な穂高連峰の山々が織りなす豊かな自然が魅力のこの地は、その幽遠な佇まいから、かつては神秘的な場所として「**神降地**」や「**神河内**」などとうたわれていました。今から約 120 年前の 1892 年（明治 25 年）、イギリス人宣教師（兼登山家）のウォルター・ウェストンが上高地を訪れた際にその景観に感動し、著書「日本アルプス登山と探検」に綴ったことで、上高地は国内外に広く知られるようになりました。

1927 年（昭和 2 年）には日本新八景に選定され、政府の国際観光振興策の一環として「上高地ホテル（現 上高地帝国ホテル）」が建設されて以降、毎年ハイキングや山登りを目的とした多くの観光客が訪れます。なお、上高地は美しい自然を守るため、マイカー規制（自家用車での乗り入れ禁止）を実施。

◆100 年以上の歴史ある『河童橋』をはじめ数々の見どころ

上高地帝国ホテル周辺には、1915 年（大正 4 年）に焼岳の噴火によって梓川がせき止められてできた、『大正池』や、日本アルプスと上高地の存在を世界に広めたイギリス人宣教師 ウェストンを記念して建てられた『ウェストン碑』、上流に穂高連峰、下流に焼岳を望む、上高地で最も有名な景勝地『河童橋』などがあります。『河童橋』は、芥川龍之介の小説「河童」の舞台にもなり、2010 年には吊り橋として 100 年を迎えました。少し足を延ばすと、明神岳の土砂が湧き水をせき止めてできた一之池・二之池からなる『明神池』、ハルニレの巨木が点在する明るい草原から、前穂高岳東壁や奥又白谷の雄大な景色を望むことができる『徳沢』など、北アルプスの山々に囲まれた美しい景勝が楽しめます。